

株主の皆様へ

第87期 中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

TOMOKU

Packaging Innovation

証券コード 3946

株式会社トーモク



TOMOKU

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第87期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。



当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費・設備投資に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しております。雇用・所得環境が改善する一方、企業収益は米国の通商政策の影響による足踏みがみられます。先行きについては物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども景気を下押しするリスクとなっており、注視が必要な状況です。

このような状況の下、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は109,084百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は4,472百万円（同42.1%増）、経常利益は4,429百万円（同44.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,785百万円（同45.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次ページに記載の通りでございます。

通期では連結売上高2,300億円、連結営業利益110億円、連結経常利益108億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき65円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解をいただき、より一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長執行役員 中橋 光男

セグメント別業績

段ボール

売上高 629億74百万円 (前年同期比4.9%増)
営業利益 54億56百万円 (同34.7%増)

段ボールの国内需要は、青果物向けが猛暑による作柄不良の影響もありましたが、全体ではほぼ前年並みとなりました。

当社グループの国内段ボール部門では、当社が主力とする加工食品及び青果物が前年同期を下回り、販売量は前年同期比で減少しました。海外段ボール部門では、米国の通商政策等の影響を受け、販売量は前年同期を下回りました。なお、生産面においては、猛暑対策として主要工場に新たな空調設備を導入し、従業員の職場環境改善、安全の確保に努めております。

一方、国内の販売価格は、前期から取り組んだ価格改定の効果で上昇しました。

その結果、段ボール部門の売上高は62,974百万円 (前年同期比4.9%増) となり、営業利益は5,456百万円 (同34.7%増) となりました。

住 宅

売上高 227億18百万円 (前年同期比0.4%増)
営業損失 13億24百万円 (前年同期は営業損失12億66百万円)

国内の新設住宅着工戸数は4月以降前年同月比で減少が続いております。

当社グループの住宅部門では、(株)スウェーデンハウスが販売棟数及び契約棟数で前年同期比減少しました。また、2025年7月1日付けで子会社の株式会社スウェーデンハウスリフォームを吸収合併し、新築からリフォームまでワンストップでサービスを提供する体制を構築しました。(株)玉善は、建売及び注文住宅の販売棟数が前年同期比で増加しました。

その結果、住宅部門の売上高は22,718百万円 (前年同期比0.4%増) となり、収益面では年間売上高に対する上半期売上高比率が低いため営業損失が1,324百万円 (前年同期は営業損失1,266百万円) となりました。

運輸倉庫

売上高 233億91百万円 (前年同期比4.5%増)
営業利益 7億95百万円 (同6.0%減)

物流業界では、国内貨物輸送量は4年連続のマイナスが予測されます。当社グループの運輸倉庫部門は、昨年稼働した大手小売業様向け物流センターの通年化や飲料関連貨物の新規拠点開設により取扱量が増加しました。一方、物流の2024年問題の影響で集車コストが大幅に増加しました。

その結果、運輸倉庫部門の売上高は23,391百万円 (前年同期比4.5%増) となり、営業利益は795百万円 (同6.0%減) となりました。

温室効果ガス排出量第三者保証取得

2024年度も、グループの温室ガス (GHG) 排出量 (Scope1+2) を対象として、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社よりISO14064-3:2019に基づく、限定的保証を受領しました。

2024年度のグループ排出量 (Scope1+Scope2 マーケット基準) は、CO₂換算で84,440トンとなり2013年度比約20%の削減となりました (単体では、再生可能エネルギー由来電力の導入等の活動により54%削減を達成しています)。



地域コミュニティへの貢献

段ボール工場では、近隣の小中学校等を対象に、社会、環境体験の一環として見学会・勉強会・出張授業・職業体験学習を継続しております。

今期は、地方自治体主催の若者定着促進活動に企業 (工場) 見学で貢献しました。



企業 (工場) 見学会の様子

中間連結財務諸表（要旨）

●売上高	1,090億	84百万円	(前年同期比 3.8%増)
●経常利益	44億	29百万円	(同 44.7%増)
●親会社株主に帰属する 中間純利益	27億	85百万円	(同 45.4%増)

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当中間連結会計期間末 (2025年9月30日現在)	前連結会計年度末（ご参考） (2025年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	91,039	89,483
固定資産	121,728	117,341
有形固定資産	98,212	95,405
無形固定資産	523	718
投資その他の資産	22,991	21,217
資産合計	212,767	206,825
負債の部		
流動負債	58,298	53,497
固定負債	58,254	59,955
負債合計	116,553	113,453
純資産の部		
株主資本	87,084	85,119
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,128	11,086
利益剰余金	66,388	64,509
自己株式	△ 4,103	△ 4,146
その他の包括利益累計額	8,353	7,614
非支配株主持分	776	637
純資産合計	96,214	93,371
負債純資産合計	212,767	206,825

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当中間連結会計期間 (2025年4月1日から 2025年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)
売上高	109,084	105,061
売上原価	89,987	88,208
売上総利益	19,097	16,853
販売費及び一般管理費	14,624	13,706
営業利益	4,472	3,147
営業外収益	555	462
営業外費用	598	549
経常利益	4,429	3,060
特別損失	125	27
税金等調整前中間純利益	4,304	3,032
法人税、住民税及び事業税	1,996	1,295
法人税等調整額	△ 537	△ 224
中間純利益	2,845	1,962
非支配株主に帰属する中間純利益	59	46
親会社株主に帰属する中間純利益	2,785	1,915

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 https://www.tomoku.co.jp/ 但し事故その他やむを得ない事由によりホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 トーモク

TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル4階
TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825
<https://www.tomoku.co.jp/>

